

第2学年 保健体育科 学習指導案

日 時 2025 年 10 月 9 日(木)

第5校時 13:30～14:20

対 象 第 2 年 C 組 39 名

会 場 校 庭

1 単元名

球技 : ベースボール型 (ソフトボール)

2 単元の目標

- (1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解している。基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。

ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができるようにする。

- (2) 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。

- (3) 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能		イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
○知識 ①球技には、集団や個人、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。 ②球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。	○技能 ①地面と水平になるようにバットを振り抜くことができる。 ②打球の状況によって塁を進んだり戻ったりすることができる。 ③ボールの正面で打球を捕ることができる。	①提供された練習方法から自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ②練習や試合の場面で最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見つけ、理由を添えて他者に伝えている。 ③体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえながら、仲間とともに楽しむための練習や試合を行う方法を見つけ、他者に伝えている。	①球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 ②練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ③健康・安全に留意している。

4 単元指導計画（全１０時間扱い）

時	目標	学習内容 ・ 学習活動	評 価
1	ソフトボールの特性を理解する。 単元の流れを確認する。 スキルチェックを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習カードを活用し、単元計画を理解する。 ・ ICT 教材を活用し、ソフトボールの技術の名称やルールについて理解する。 スキルチェック <ul style="list-style-type: none"> ・ 2人組でキャッチボールを行う。 ・ テニスボールとテニスラケットを用いて、フライボールを捕る。 	ウー① 【学習カード、観察】
2	用具の使い方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ グローブの扱い方について復習する。 ・ 2人組でキャッチボールを行う。 ・ ゴロを投げ、送球する。 ・ バットの特性を説明する。 ・ 4～5人組を作り、バッティング練習を行う。 	ウー③ 【学習カード、観察】
3	課題別練習の取り組み方を理解する。 試合の進め方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ①フライボールキャッチ、 ②ゴロ捕球から一塁へ送球、 ③バッティング 主に3つの練習パートを作り、やり方、学習効果について説明し、実際に練習に取り組ませる。 ・ 学習カードを活用し、本時の課題を次回に生かし、次回の授業時に課題克服のために練習ができるように意識する。 ・ 試合の流れを説明 打順・ポジションを決める。挨拶から始める。安全に十分に留意する。 ・ 簡易試合を行う。 	アー技能①③ 【観察】
4	教室にてソフトボールのルールについて理解する。	ICT 機器を活用し、ルールについての映像を見て、授業の終わりに小テストを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ アウトとセーフについて ・ フォースプレイとタッチプレイについて 	アー知識① 【小テスト】
5 6 本 時 7	前回の課題を意識し、課題別練習に取り組む、課題克服に努める。 試合を通して仲間と協力し、課題を発見できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題別練習 ①フライボールキャッチ、 ②ゴロ捕球から一塁へ送球、 ③バッティング ・ 試合では仲間と声を掛け合い、分からないことは起こるべき内容を場面ごとに確認をしてから進める。 	アー知識② イー① 【学習カード】 イー②③ アー技能② 【観察】
8 9	技能テスト ・ 水平にバット振り、ボールをしっかりと捉える ・ ゴロを体の正面で取り、一塁までボールが投げられる。	技能テスト班と試合の班に分かれて活動する。 技能テスト <ul style="list-style-type: none"> ・ バッティングと守備 バッティング 投手から投げられたボールを水平に振ったバット	アー技能①③ 【実技テスト】

		で捉える。 ・守備 転がってきたボールを正面で取り、一塁に正確に投げる。	
10	ベースボール型球技に親しむ	今まで学んだことを意識し、仲間と協力して、試合を行い、運営する。	ウー③ イー② 【学習カード】



5 生徒が主体的に学び続けるための工夫（個別最適な学び）

学習カードを用いて毎時間、本時の課題を発見させる。そして次の授業では、課題克服に努められるよう、練習パートを個別に選択させることで技能の向上を図る。また、選択できる環境があることにより、学習カードに書いた反省を解決する練習パートを次時に選択できるため、生徒一人ひとりの課題に沿った練習計画が立てられる。

6 本時の指導（全10時間中の6時間目）

（1）本時の目標

- ・ 前回の課題を意識し、課題別練習に取り組み、課題克服に努める。
- ・ 試合を通して仲間と協力し、課題を発見できるようにする。

（2）本時の展開

	○学習活動 ◎主体的に学び続けるための視点	□指導上の留意点 ◆評価
導入	○目標確認を行う。 ○準備運動を行う。	□常に目標を全員が見える場所に提示しておき、見返せるようにする。 □肩や手首を十分にストレッチさせる。
展開	◎課題別練習 ①フライボールキャッチ、 ②ゴロ捕球から一塁へ送球、 ③バッティング 3つの中から選択し、前回の振り返りで挙げた課題の克服に努める。	□仲の良い人がいるなどの理由で練習内容を選択するのではなく、前の授業で挙げた課題を克服できるように促す。 □同じ課題のある仲間が集まるので、その仲間と話し合うことも学習効果が期待されることを指導する。 ◆イー③【観察】
	○試合をする。 4チームに分かれ、リーグ戦を行う。	□安全に留意させる。 □攻撃チーム生徒の応援立ち位置、打った後のバットの置き方、キャッチャーのマスク着用、攻撃側と守備側の接触プレイ禁止など十分に注意喚起を行う。 □試合を通して、個人・チームの課題把握に努めることを指導する。
まとめ	○片付けをする。 ○本時の振り返りを行う。	□学習カードに本時の課題を書かせ、次回に生かすように指導する。

